

令和5年度 全国学力・学習状況調査

小坪小学校の結果の分析及び考察

令和5年4月に小学6年生と中学3年生を対象に行われた学力・学習状況調査の結果の概要について次の通りお知らせします。

1. 教科別結果から

平均正答率 (%)	国語	算数
小坪小	64	61
神奈川県	66	63
全国	67.2	62.5

国語

- ・「『川村さんの文章』の特徴の説明として適切なものを選択する」問題では、正答率87%で、全国平均より7ポイント上回った。文章の種類とその特徴について理解していると捉えられる。
- ・「資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く」問題では、正答率46%で、全国平均より11ポイント下回った。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題があると捉えられる。

今後の求められる取組

朝読書の時間や国語の授業で本に触れる機会を増やし、あらすじや心に残ったところをまとめたり、友達に伝えたりする場面を多く設定する。また、一人ひとり文章を書く場面を増やし、国語に限らず、情報や考えをまとめる際には視点を示し、目的に応じて適切にまとめられるように指導していく。

算数

- ・「二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ」問題では、正答率68%で、全国平均より4ポイント上回った。表から条件に合う数を読み取る力がついてきていると捉えられる。
- ・「椅子4脚の重さが7kgであることをもとに、48脚の重さを求める」問題では、正答率46%で、全国平均より9ポイント下回った。伴って変わる二つの数量が比例関係にあることを用いて知りたい数量を求めることに課題があると捉えられる。

今後の求められる取組

全体と部分の関係や、部分と部分の関係を把握しやすくするために、量を表した図や線分図、数直線で表したり、式と図を関連付けさせたりして考える場面を設定する。また、少人数教室やチームティーチングを活用し、丁寧に基本的な学習の習得を目指して指導していく。

2. 児童質問紙から

「算数の勉強は好きですか」の問いに「当てはまる」と答えた児童の割合は66%、「算数の勉強は大切だと思う」と答えた児童の割合は95.7%と、ともに県と全国平均を上回った。教科への興味関心の高さを生かし、主体的な学びを促していきたい。

一方「自分にはよいところがある」と答えた児童の割合は全国平均の83.5%より17.5ポイント下回った。教科の学習だけにとどまらず、様々な教育活動を通して子どもたちの自信を高めていくことが求められていると言える。